

## 第 77 回愛鳥週間

令和 5 年度 野生生物保護功労者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 総裁賞 (1 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
沖縄県	くがい かつもり 久貝 勝盛	<p>1) 50 年以上継続しているサシバの渡りカウント調査は、サシバ保護の原点となる貴重な資料となっている。</p> <p>2) 1974 年に「宮古野鳥の会」を結成し、結成当初から年に 7 回ほど自然観察会や野鳥写真展、夏休み研究相談室及び星座観察会などのイベントや講演等を実施し、市民に自然の素晴らしさや大切さを訴え、サシバの密猟根絶への起爆剤となった。</p> <p>3) 1991 年ごろから継続的に続けてきたサシバ保護活動の重要性が認知され、沖縄県のバックアップを得て警察や地域住民、行政がサシバ保護活動に動き出した。伊良部中学校では生徒会と母親の会を中心にサシバ保護活動が活発化した。1994 年には伊良部町内の小中学校を中心に「サシバは友だち連絡協議会」が結成され「第 2 回サシバは友だちフォーラム」が開催された。この結果、1970 年～1980 年代には日常茶飯事に行なわれていたサシバの密猟が徐々に減少した。</p> <p>4) 2021 年に開催された「第 2 回国際サシバサミット宮古島」を誘致し、伊良部の小中学校の生徒も参加し独自のサシバ保護活動の報告を行なった。また、台湾やフィリピンからも多数の関係者が参加して大好評を博した。2022 年には日本自然保護協会の協力で「宮古島市伊良部島サシバ飛来数調査 50 回記念講演会」を開催した。こうして長年の保護活動が実を結び、宮古のサシバ密猟数はゼロになった。</p> <p>5) 子どもたちを対象にした環境教育にも力を注ぎ、環境教育を通じて地域ぐるみのサシバ保護活動へと発展する起爆剤になった</p> <p>6) 与那覇湾淡水湖化反対運動、池間湿原を県の鳥獣保護区にする取り組み、大野山林縦貫道路変更運動、与那覇湾ラムサール条約登録運動等にも仲間と共に取り組んだ。</p>

2. 環境大臣賞（6件）

都道府県	被表彰者	功績概要
福島県	<small>おおたか のりもと</small> 大高 紀元	1) 鳥獣保護管理員として、野生鳥獣の保護、有害捕獲や狩猟における安全のための普及啓発、鳥獣保護区及び特定猟具使用禁止区域の標識・看板の維持にも精励した。 2) 福島県土木部が指名する「川の案内人」として水辺の野生生物の保護及び啓蒙活動にも取り組むとともに、日光国立公園内にある赤面山の植林活動を行っている。 3) ツキノワグマに関する造詣が深く、管内外の市町村等からの要請を受け講演等を行っている。
福井県	<small>さかい けいじ</small> 酒井 敬治	1) 福井県鳥獣保護巡視員、福井県環境審議会委員、福井県レッドデータブック改訂事業企画委員・鳥類哺乳類部会の部長などを担い、県内の環境影響評価に係る野鳥保護の有益な情報提供及び絶滅危惧種の生息調査やレッドリストのとりまとめに従事した。 2) 鯖江市周辺のコウノトリやシギ、チドリ類の飛来状況を把握し、冬水田んぼや環境に配慮した農法を農業者へ依頼している。コウノトリについては人工巣塔の設置等に注力し、コウノトリ等が棲める環境づくりを行った結果、令和4年にコウノトリの繁殖に繋がった。 3) 長年児童生徒とともにアオバズクやブッポウソウの保全のため森林に巣箱の設置を継続して行っている。
鹿児島県	<small>おごもり まさと</small> 尾籠 政斗	1) 毎冬、ツル保護監視員として農地を見回り、死亡・衰弱個体の回収・保護や観察者への普及啓発などを行うことでツル類の保護活動に貢献している。 2) とくに、令和4年度は出水で高病原性鳥インフルエンザによるツル類の大量死が発生し、約1,450羽（令和5年2月末時点）もの死亡個体等が回収された。このうち、約300羽の死亡個体等の回収を担い、感染拡大抑制に貢献した。 3) 出水市ラムサール条約登録推進協議会副会長として会議に参加し、農家の意見を代弁することで利害関係者の調整に寄与し、同計画策定に貢献した。

都道府県	被表彰者	功績概要
静岡県	ごてんぼしりつ 御殿場市立  いんのしょうがっこう 印野小学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 愛鳥週間に巣箱をかけたり、野鳥のためにエサ台を製作したり、野鳥のエサとなる実がなるクロガネモチの木を入学記念樹として学校に植えたりした。</li> <li>2) 野鳥愛護林で観察や調査を行い、鳥の知識だけでなくその鳥がいる環境と鳥の関係なども講師から学び、豊かな自然を守っていこうとする児童の使命感が高まっている。</li> <li>3) 校内のお祭りで、観察してきた野鳥をテーマに出展したり、手作りの野鳥かるたや野鳥の模型を作って教室に飾ったりして野鳥を大切にする活動を行っている。</li> </ol>
鹿児島県	とくていひえいり 特定非営利  かっどうほうじん 活動法人  あまみやちょう かい 奄美野鳥の会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 長年にわたりオオトラツグミさえずり一斉調査を実施し、信頼性の高いデータとして環境省の保護増殖事業に活用されている。また世界自然遺産モニタリング計画の調査指標として位置付けられている。</li> <li>2) 毎月1回以上の探鳥会、自然観察会の開催や、小中学校への出前講座など啓発に努めている。</li> <li>3) 環境省の奄美希少種保護増殖事業や密猟防止パトロール、希少トンボ類等の生息状況調査などを請負実施している。</li> <li>4) 他団体と共同でアマミヤマシギなどの希少種の生態調査や越冬サシバの保全に向けた調査を実施している。</li> </ol>
鹿児島県	かごしまけん 鹿児島県  ほごかい ツル保護会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 出水市等が実施するツル食害対策事業等を受託し、ツル類の保護管理に貢献している。</li> <li>2) 地元の学校と協働でツルの羽数調査、初渡来・渡去状況等を独自に記録し、それらの調査結果を蓄積・公表することでツル類の保護管理に貢献している。</li> <li>3) 野鳥の監視及び死亡個体の回収等により、地域の高病原性鳥インフルエンザ対策に貢献している。令和4年度は出水でツル類の大量死が発生し、約1,450羽（令和5年2月末時点）もの死亡個体等を回収し、感染拡大抑制に貢献している。</li> </ol>

3. 文部科学大臣賞（2件）

都道府県	被表彰者	功績概要
埼玉県	かわぐちしりつ 川口市立  こやばちゅうがっこう 小谷場中学校	1) 身近に生息している野鳥に注目し、その環境を守りたいという思いを込めて、年間 24 回の継続観察・研究をしている。 2) 校内のビオトープ池で在来種が生息できるように清掃や調査を行っている。校内の人工林「やすらぎの森」ではどのような昆虫や植物が生息しているかを調査している。 3) 地域の環境保護団体が行う外来種除去ボランティアへの参加や、講師を招待して講義を行ってもらい、さまざまな自然環境保護のための活動を連携して行っている。
山口県	がっこうほうじん 学校法人  くさかがくえん 日下学園  さいえんじょうちえん 西円寺幼稚園	1) 動物を慈しみ、自然環境を保護しようとする心を養うために、昭和 29 年から現在まで愛鳥週間に合わせて鳥の模型を制作し、野鳥やその他の動物に対する優しい心を育てている。 2) 毎日の朝の会で四季折々の童謡を歌い、山や自然の中の動物たちに思いをはせながら、心を寄せようとする心情を養っている。 3) 園児の発達段階に合わせた季節の自然や生物に親しむ遊びを通して、子どもたちの思いを深めていき、園が開園当初から大事にしてきた、命ある物への慈悲の心を育む教育に通じている。

4. 林野庁長官感謝状（3件）

都道府県	被表彰者	功績概要
大阪府	むらはま しろう 村濱 史郎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「かわちながのふくろうの森プロジェクト」を設立し、地域の生態系上位種であるフクロウの保全活動を通して、河内長野市及び近郊の生物多様性保全のための自然環境の維持・改善活動を行った。</li> <li>2) 市の行事や学会、自然保護団体、小学校などで講演を行うと同時に、鳥類、地域自然保護関係の雑誌に活動の成果をまとめた論文を投稿。フクロウの生態及び保全活動の必要性について普及・啓発を行っている。</li> <li>3) 河内長野市、富田林市、堺市、岸和田市、泉佐野市で活動する施設・団体と協力してフクロウ及びムササビの生態や地域個体群の血縁関係の解明に取り組んでいる。</li> </ol>
佐賀県	じょうたき もとし 上 瀧 基	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 佐賀県鳥獣保護管理員として傷病野鳥の保護及び違法罠の管理等さまざまな活動を通し、鹿島市の鳥獣保護管理員の役割を果たしている。</li> <li>2) イノシシによる農作物被害やカモによる海苔の被害など有害鳥獣による被害拡大を防止するための見回りを行うとともに、人と野生生物を繋ぐ活動もなされました。</li> <li>3) 見回りにより違法罠の有無を調べ、違法罠対策に貢献している。</li> </ol>
栃木県	いそやま 磯山とゆかいな  なかまたち 仲間達	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 活動を行っている磯山を野生生物にとって棲み良い自然豊かな環境にするために植樹・育樹活動を継続して行い、ヤマザクラなど約330本を植樹し、野鳥等が訪れる山にしている。また、ニッコウキスゲの保護を行うほかに、下草刈り、枯木倒木処理なども実施し地域に貢献している。</li> <li>2) 観光協会と連携・協力して野生生物が棲む豊かな環境を見ることができる遊歩道の整備を行い、ハイキングコースマップの作成や野生生物保護を周知するための看板を設置など野生生物保護の重要性を周知している。</li> <li>3) 真岡市と協定を締結して継続的に植樹・育樹を通じた野生生物保護活動に取り組んでいる。また、地元自治会や周辺保育園などとも連携しており、地域の理解を得た地元密着の活動となっている。</li> </ol>

5. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟会長賞（3件）

都道府県	被表彰者	功績概要
福岡県	あらい みつこ 荒井 充子	1) ハチクマの複数の秋期渡りコースを明らかにし、渡りコースとしての北九州の重要性や工業地帯の高炉の上昇気流を利用するハチクマの生態等を研究・報告をした。 2) 風力発電がタカ類をはじめとする鳥類に影響を及ぼしているため、風力発電計画の環境アセスメントに調査データを提供し、事業者への意見書提出にも寄与している。 3) タカ類の渡りを地元の人たちにも知ってもらうために、市民参加の「タカの渡り報告会」や「タカ類の渡り市民観察会」を行ってきた。
佐賀県	やまさき ふみひろ 山崎 章弘	1) 赴任先の学校周辺に生息している野鳥について紹介し、本物を見せたり一緒に観察したりして児童生徒の関心を高めている。 2) 収集した生物データをもとに、学校周辺の生物マップを作り野鳥の1年間の生態についてまとめている。またバードリサーチ全国鳥類繁殖調査、チュウヒ類の越冬期個体一斉調査などの野鳥調査を行っている。 3) ゲストティーチャーとして小学生や中学生を対象に鳥の生態について解説、伊万里市で企画する「いきもの展」では資料を提供し展示物の準備など地域の環境教育活動に貢献している。
沖縄県	ながみね たかし 長嶺 隆	1) 国頭村安田にヤンバルクイナ救命救急センターを設置し、ヤンバルクイナの飼育や人工繁殖等の技術の確立、ヤンバルクイナの保全対策に資する情報を提供している。 2) 野生動物のロードキル対策として道路設計に関する助言やネコの適正飼育を目的とした条例策定や適正飼育推進活動に携わっている。 3) イベントでの講演や新聞、テレビ等を通じた普及啓発活動を行っているほか、世界自然遺産推進共同企業体に対し、環境保全や持続可能な地域振興活動に資する情報提供を行っている。

6. 環境省自然環境局長賞（6件）

都道府県	被表彰者	功績概要
岩手県	<small>にたない のりたか</small> 似内 功孝	1) 岩手県鳥獣保護巡視員として野生鳥獣の保護、鳥獣に関する調査及び鳥獣保護区の保全等に努め、「モニタリング1000」では調査員として自然環境の調査、情報収集を行っている。 2) 花巻市の自然環境分野の環境マイスターとして市内の団体等が主催する野鳥教室、自然保護に係る講習会等の講師を務めるなど、自然保護の思想・知識の普及啓発に貢献している。 3) 環境省及び岩手県のイヌワシ調査に従事したほか、岩手県いわてレッドデータブック改訂事業に係る調査協力者として希少野生動植物の保護に努めている。
愛知県	<small>がっこうほうじん</small> 学校法人 <small>さくらがおかがくえん</small> 桜丘学園 <small>さくらがおかこうとうがっこう</small> 桜丘高等学校	1) 豊橋市の小学校に朝倉川の生きものについての出前授業を行ったり、蒲郡生命の海科学館で生きものワークショップを開催したりしてきた。 2) 絶滅危惧種ヤマトマダラバットの生息調査や三重県神島にて絶滅危惧種シロヘリハンミョウの発見などの調査・研究を行うとともに、東三河生態系ネットワークフォーラムなどで研究発表を行った。 3) 清掃活動を通じての石巻山カタツムリ保全活動、外来植物調査活動を通してのアカウミガメ保護活動などの保全・保護活動を行っている。
三重県	<small>しりつ</small> いなべ市立 <small>とやしろうしょうがっこう</small> 十社小学校	1) 三重県いなべ市教育委員会の協力のもと、大学教授などの淡水魚保全の専門家、ネコギギ保護に関わる水族館職員、三重県及びいなべ市の天然記念物保護担当者などの講師を招いて授業を行っている。 2) ネコギギ保護事業で増殖した員弁川水系のネコギギを学校で飼育し、ふるさとの川へ放流している。 3) ネコギギについて学んだ内容をまとめ、学習発表会で家族や地域の人たち、市外の淡水魚保全のイベントなどで児童が発表している。

都道府県	被表彰者	功績概要
鹿児島県	あまみしりつ <b>奄美市立</b>  さ に しょうがっこう <b>佐仁小学校</b>	1) 奄美大島に生息していない野生のオオゴマダラが小学校に飛来して以来、約 19 年間地域の人たちと協力しながらオオゴマダラの飼育・観察活動に取り組んでいる。 2) オオゴマダラの飼育・観察記録を通して、自然を愛する心や美しいものに感動する心を児童一人一人に培うことを目指した情操教育に取り組んだ。 3) 血統が同じ個体同士の交配を重ね続けると羽化後の寿命が縮まる傾向にあるため、島内にある蝶ハウスの幼虫と定期的に交換し、異なる血統の個体を蝶小屋に持ち込むようにしている。その結果、繁殖が途絶えることなく飼育・観察活動が可能となっている。
鹿児島県	な か た ね ち ょ う り つ <b>中種子町立</b>  い わ お か し ょ う が っ こ う <b>岩岡小学校</b>	1) アカウミガメの卵を採卵し、孵化した子ガメをしばらく飼育したり、生態についての学習を行ったり、学習発表会等での報告などにも取り組んできた。 2) 町の福祉環境課と共に長浜海岸の清掃活動を毎月行い、地域おこし協力隊や種子島高校等の関係機関と連携したウミガメ保護活動を計画した。 3) 専門家のアドバイスのもとアカウミガメの簡易孵化水槽を設置し、子ガメの孵化や観察を通して環境を保護する意識付けに繋がった。
沖縄県	<b>あやぱに</b>  か ぶ し き が い し ゃ <b>株式会社</b>  い し が き                      む ら <b>石垣やいま村</b>	1) カンムリワシの傷病救護のためのケージを開設し、沖縄県の傷病鳥獣飼養ボランティア施設として交通事故等で傷ついた個体の受け入れと、野生復帰に向けたリハビリ訓練を行い、救護されたカンムリワシの野生復帰に貢献している。 2) 石垣やいま村を訪れる人に交通事故防止への理解を深めてもらうため、保護した終生飼育個体の一般公開を開始し、普及啓発のための展示が行われている。

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（15件）

◆個人

都道府県	被表彰者
北海道	きくち むつこ 菊地 睦子
北海道	まるやま きよし 丸山 潔
福島県	たかはし ひさし 高橋 久
栃木県	かとう けいぞう 加藤 啓三
群馬県	いづか ひろし 飯塚 浩
埼玉県	おおはし くにひろ 大橋 邦啓
新潟県	よこやま みつこ 横山 美津子
石川県	ささはら ゆうじ 笹原 裕二
滋賀県	ふじたき かずひろ 藤滝 和博

◆学校

都道府県	被表彰者
新潟県	さどしりつ にくうしょうがっこう 佐渡市立 二宮小学校
富山県	くろべしりつ うなづきしょうがっこう 黒部市立 宇奈月小学校
愛媛県	くまこうげんちょうりつ みかわちゅうがっこう 久万高原町立 美川中学校
愛媛県	せいよしりつ いわきしょうがっこう 西予市立 石城小学校
宮崎県	こばやしりつ かみやしょうがっこう 小林市立 紙屋小学校
宮崎県	みやざきしりつ ふるじょうしょうがっこう 宮崎市立 古城小学校

8. 環境省自然環境局長感謝状  
鳥獣保護管理員等 (52 件)

都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者
北海道	いごたじゅんべい 伊吾田 順平	長野県	くろいわ かずまさ 黒岩 和正	香川県	くすだ みき 楠田 美樹
北海道	みずしま たかし 水島 隆	長野県	すぎもと かずみ 杉本 一三	香川県	やもと まさる 矢本 賢
岩手県	すがわら ゆきお 菅原 幸男	愛知県	といた ひでお 樋田 秀雄	高知県	かげやま としお 影山 敏夫
埼玉県	たむら まさかず 田村 正和	愛知県	まつい えつじ 松井 悦次	高知県	かとう けんいちろう 加藤 憲一郎
埼玉県	みやま のぼる 見山 昇	滋賀県	かさい せいご 笠井 誠吾	高知県	たなか みつあき 田中 光顕
千葉県	きうち みきお 木内 操	滋賀県	しま たかし 島 孝志	佐賀県	いけなが えいすけ 池永 栄介
千葉県	こじま てるお 小島 照雄	滋賀県	たかぎ けんじ 高木 健治	佐賀県	ふじかわ こうじ 藤川 幸路
千葉県	さかぐち つとむ 坂口 敦	京都府	おおにし けんすけ 大西 研介	熊本県	いせきお 井 世紀男
千葉県	たかはし すずむ 高橋 進	京都府	たいえ まさひこ 田家 政彦	熊本県	たけはら のりお 竹原 憲朗
千葉県	たなか てつお 田中 哲夫	兵庫県	にしむら ひろし 西村 博志	熊本県	たけべ まさのり 竹部 正徳
東京都	あなはら みな 穴原 美奈	兵庫県	やなぎ まもる 柳 守	宮崎県	ひだか よしひろ 日高 義廣
神奈川県	かわの ひろし 川野 博	奈良県	いたに あきお 井谷 明夫	宮崎県	まえだ はつお 前田 初男
神奈川県	のむら ひろし 野村 洋子	奈良県	たなか てるひと 田中 照人	鹿児島県	いけだ さちはる 池田 幸春
神奈川県	みながわ やすお 皆川 康雄	奈良県	たにくち まさみつ 谷口 和三	鹿児島県	えぐち じゅいち 江口 壽一
富山県	あさの こうさく 浅野 孝策	奈良県	ほりうち しょうじ 堀内 昭司	鹿児島県	おおくぼ いつお 大久保 五男
富山県	あなくら ひでお 穴倉 日出男	鳥取県	たなか しゅういち 田中 修一	鹿児島県	まえだ まさひろ 前田 正弘
富山県	ほりた ひろし 堀田 博	岡山県	なかやま しょういち 中山 昭一		
富山県	ほんだ いちろう 本多 一郎	岡山県	もりわき えいじ 森脇 英二		